

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場会社名 石井食品株式会社

上場取引所 東

コード番号 2894 URL <http://www.ishiifood.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 浅井 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務戦略部総括MGR (氏名) 植草 豊彦

TEL 047-459-9061

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,776	△10.1	90	76.6	85	49.4	30	51.0
21年3月期第1四半期	3,089	—	51	—	57	—	20	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1.66	—
21年3月期第1四半期	1.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	11,285	6,939	61.5	377.91
21年3月期	11,347	6,980	61.5	380.14

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 6,939百万円 21年3月期 6,980百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	6.00	6.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	5,500	91.8	10	—	15	—	8	—	0.44
通期	12,300	△0.9	300	4.6	330	4.6	160	8.6	8.71

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 18,392,000株 21年3月期 18,392,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 27,991株 21年3月期 27,941株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 18,364,034株 21年3月期第1四半期 18,366,030株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年5月8日発表の連結業績予想は修正していません。上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界的な金融不安に端を発した急速な景気後退が強まり、基幹産業である製造業を中心とした企業業績の悪化や雇用の縮小等により、お客様の節約志向・低価格志向が強まる中、先行きは依然と不透明な状況となっております。

これらの環境の中、お客様は、物の豊かさから心の豊かさ、より安全な商品などの価値を求めるようになりました。

当社グループの取り組みとしては、当社独自の原材料履歴管理システムを活用した原材料履歴情報、残留農薬検査内容の開示を積極的に行うことはもとより、お客様に自ら当社工場へ来場していただき、ご自身の目で確かめ、ご自身の手で感じていただけるよう使用している原材料をお見せする工場見学を積極的に受け入れて参りました。また、原材料の鮮度をより一層高めるため生産者のご協力をいただき、原材料の素材本来の持つおいしさを提供できるように取り組みを積極的に実施して参りました。

このような活動を行って参りましたが、個人消費の減退、価値訴求の不足などにより、売上高27億76百万円（前年同期比89.9%）となりました。一方、品質の向上を目的としたロスの防止からの費用の削減に努めました結果、営業利益は90百万円（前年同期比176.6%）となりました。これにより、経常利益は85百万円（前年同期比149.4%）となり、これに法人税等充当額の処理を行った結果、四半期純利益は30百万円（前年同期比151.0%）を計上することとなりました。

製品別売上高

(単位:千円未満切り捨て)

製品別	前第1四半期連結累計期間 (20.4.1~20.6.30)		当第1四半期連結累計期間 (21.4.1~21.6.30)	
	金額	構成比	金額	構成比
		%		%
食肉加工品	2,897,087	91.6	2,642,047	91.7
冷凍食品	23,420	0.7	16,560	0.6
中華調味料	42,085	1.3	27,836	1.0
正月料理	—	0.0	—	0.0
そう菜	162,123	5.2	153,902	5.3
その他	39,163	1.2	39,310	1.4
合計	3,163,880	100.0	2,879,657	100.0

(注)上記は売上割戻控除前の金額であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は前連結会計年度末に比べ、61百万円減の112億85百万円となりました。また、負債総額は前連結会計年度末に比べ20百万円減の43億45百万円、純資産は前連結会計年度末に比べ、40百万円減少の69億39百万円となり、この結果、自己資本比率61.5%となりました。

営業活動によるキャッシュフローは1億22百万円の増加となりました。主な要因としては、減価償却費の計上となります。投資活動によるキャッシュフローは6百万円の減少となりました。主な要因としては、有形固定資産の取得によるものです。財務活動によるキャッシュフローは1億27百万円の減少となりました。主な要因としては、配当金の支払いと、借入金の返済によるものです。これらにより、現金及び現金同等物の当第1四半期連結累計期間末残高は、前連結会計年度末に対し11百万円減少の37億7百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期業績結果は、平成21年5月8日に開示いたしました当期業績予想に対し、堅調に推移しており、通期の業績予想に変更はございません。

今後の活動であります。生産工場における在庫量の削減に努めていくことにより、製品作りにおいて鮮度の良いものを常に使用できる仕組みを作り、お客様に満足していただき、お客様のより一層のご信頼が得られるように活動していく所存でございます。

また、支出面においては、お金の使用の目的を明確にし、そこから三方得になるように、ロス管理・時間管理を徹底しお取引先様との共創を図って参ります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度の係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

①税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,410,551	4,421,837
受取手形及び売掛金	1,411,757	1,345,549
商品及び製品	33,540	30,661
仕掛品	26,851	32,082
原材料及び貯蔵品	201,296	212,540
その他	82,378	90,992
貸倒引当金	△1,434	△1,344
流動資産合計	6,164,941	6,132,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,942,605	1,998,808
機械装置及び運搬具(純額)	1,376,826	1,444,004
土地	1,143,099	1,143,099
工具、器具及び備品(純額)	43,559	47,670
有形固定資産合計	4,506,091	4,633,583
無形固定資産	53,508	56,390
投資その他の資産	560,925	524,844
固定資産合計	5,120,525	5,214,818
資産合計	11,285,466	11,347,137
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	309,444	304,957
短期借入金	2,130,000	2,130,000
1年内返済予定の長期借入金	67,560	67,560
未払法人税等	51,724	166,806
賞与引当金	166,543	80,676
未払費用	514,341	505,198
その他	115,995	97,053
流動負債合計	3,355,610	3,352,251
固定負債		
長期借入金	247,000	263,890
退職給付引当金	565,344	545,141
長期末払金	177,644	204,989
固定負債合計	989,989	1,014,020
負債合計	4,345,599	4,366,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	5,351,564	5,431,339
自己株式	△7,035	△7,025
株主資本合計	6,936,930	7,016,715
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,936	△35,851
評価・換算差額等合計	2,936	△35,851
純資産合計	6,939,867	6,980,864
負債純資産合計	11,285,466	11,347,137

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,089,549	2,776,041
売上原価	1,887,832	1,643,729
売上総利益	1,201,717	1,132,311
販売費及び一般管理費		
給料	186,161	182,937
販売手数料	74,385	76,201
運搬費	344,367	306,298
販売促進費	130,917	78,661
その他	414,505	397,471
販売費及び一般管理費合計	1,150,338	1,041,569
営業利益	51,379	90,741
営業外収益		
受取利息	1,350	2,133
受取配当金	5,722	5,304
雑収入	2,452	—
その他	7,242	7,433
営業外収益合計	16,767	14,870
営業外費用		
支払利息	10,686	9,427
たな卸資産廃棄損	—	8,547
その他	345	2,288
営業外費用合計	11,031	20,263
経常利益	57,115	85,348
特別利益		
投資有価証券売却益	—	243
特別利益合計	—	243
特別損失		
固定資産処分損	—	6,328
特別損失合計	—	6,328
税金等調整前四半期純利益	57,115	79,262
法人税等	36,974	48,853
四半期純利益	20,140	30,408

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	57,115	79,262
減価償却費	177,940	145,990
賞与引当金の増減額(△は減少)	90,709	85,866
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,699	20,202
長期未払金の増減額(△は減少)	△6,189	△27,344
受取利息及び受取配当金	△7,072	△7,437
支払利息	10,686	9,427
固定資産除却損	—	6,328
売上債権の増減額(△は増加)	△106,030	△66,207
たな卸資産の増減額(△は増加)	△13,417	13,595
仕入債務の増減額(△は減少)	31,825	4,487
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△2,805	△3,526
未払消費税等の増減額(△は減少)	30,548	△10,903
その他	36,163	35,761
小計	304,172	285,505
利息及び配当金の受取額	6,264	7,317
利息の支払額	△10,517	△9,780
法人税等の支払額	△41,411	△160,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	258,508	122,631
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,426	△8,619
投資有価証券の取得による支出	△558	△551
その他	286	2,336
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,698	△6,833
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△16,890	△16,890
自己株式の取得による支出	△141	△10
配当金の支払額	△101,014	△110,184
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,045	△127,084
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	132,764	△11,286
現金及び現金同等物の期首残高	2,905,304	3,718,837
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,038,069	3,707,551

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)
該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。